

秋まけば、春早く収穫できる 寒さに強い

早春の青刈作物はこれだ

発売開始、青刈C・Oのチャンピオン 雪印スーパーイオ

試作用小袋 50円 100g入
特用袋 100円 (約70坪分)

普通の「なたね」とは違う青刈用の葉菜。葉や茎が巨大で、嗜好と栄養の高い多収な優良新品种。弱酸性地、湿田に強く、水田裏作、園地の間作や畑地に寒地暖地共に秋まきして、早春の青刈飼料として貴重なものです。
是非ご試作下さい。

コモンベッチ

他作物にまきついで生育するつる性の1年生まめ科作物で、主にえんばく、ライ麦、イタリアンライ又はクロバーレ類と混播し、嗜好の良い栄養の高い青草を生産します。

寒さに強いが寒地では普通春まき、暖地では秋まきとして、水田裏作、輪換畑、園地の下草綠肥として利用されます。暖地の秋まきに適します。

ヘアリーベッチ

コモンベッチよりも寒さに強く、又不良地でも良く生育する強健な1年生作物。寒地でも秋にライ麦と混播して、翌春豊富の青刈を生産します。利用はコモンベッチと同様。寒地に適します。

れんげ（紫雲英）

嗜好性高く、栄養価もあり、水田裏作に容易に作れるので、古くから広く利用されている越年生のまめ科草。東北北部や北海道では越冬しません。又湿田や酸性地では生育不振なので、このような所ではアルサイククロバーやレープ(C・O)が有利です。イタリアンライグラスとの混播も最近行なわれています。

夏まいて短期間に多収の青刈類

青刈デントコーン

暑い時期に良く伸びますので、密播栽培(60cm×条播10cm)で短期間に多収かくできます。肥料を与えれば与えるだけ増収できます。

スイートソルゴー

雪印優良品種。暑熱と旱ばつに強く、夏にグングン伸びる一年生夏作物。夏まきでも厚播すれば、秋までに相当の生草が収かくできます。

スードングラス

ソルゴーと同様に夏に急速に生育する夏作物。秋までに充分利用できます。

夏秋まき青刈作物の作り方

寒高地

●水田裏作：

寒さの厳しい地方でもライ麦とレープ(C・O)、フィールドブロームの利用によって、水田裏作の秋まきもでき、翌春充分収かくできます。東北南部のレンゲ栽培可能な地帯では、この他にベッチ、えんばく、イタリアンライが有利。

●飼料畑：

青刈えんばく、レープ(C・O)、ライ麦などを収穫した跡にデントコーンを密条播して青刈するか、かぶを播いて晩秋に収穫する。ライ麦、レープ(C・O)、ヘアリーベッチ、えんどう、イタリアンライを混播して秋まきすれば早春に豊富な青刈ができます。

暖地

●水田裏作：

○早期田跡地利用 (デントコーン、カウピー、レープなど8月中下旬に播種、10~11月まで刈取利用)
○普通田跡地利用 (寒さの強いえんばく、レンゲ、ベッチ、イタリアンライを10~11月に播き、翌春水稻作付前までに利用)

○早期田跡地の連続利用 (8月中下旬にベッチ、えんばく、レープ、かぶ、イタリアンライなどを播種、年内1~2回、翌春2~3回刈利用)

●飼料畑：

○夏作収かく後、デントコーン、ひまわり、かぶを密播して短期間に収かく、その跡を麦類など寒さに強いものを秋まきして翌春収かく。
○寒さに強いライ麦、えんばく、レープ、ベッチ、かぶ、イタリアンライなどを秋まきし、冬から早春にかけて収かく。
○夏期にデントコーン、スードン、ソルゴー、テオスント、青刈大豆を栽培、その跡或は中播として寒さに強い作物を作付、翌春利用。

施肥量

少面積から短期間に多収かくする場合、充分な施肥が必要条件です。少くとも下記標準量は与えて下さい。

青刈作物の施肥量基準 (10アール当りキロ)				
作物名	堆厩肥	硫酸	過石	塩加
青刈デントコーン	1,500~2,000	20~45	30~50	10~15
ソルゴー	2,000~3,000	20(20)~30(30)	50~100	20~40
スードングラス	2,000~3,000	20(20)~30(30)	50~100	20~40

()内は追肥分

寒さに強い、早春の青刈飼料

雪印改良

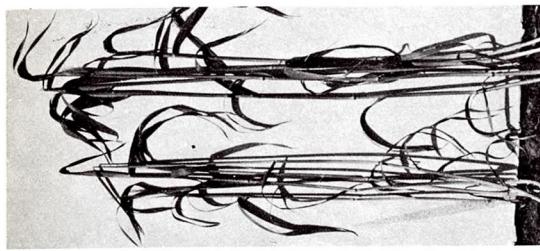
ライ麦

麦類中最も寒さに強く、しかも大抵の土地によく生育する秋まき用の青刈作物で、暖地はもちろんのこと寒地でも田畠の裏作として広く利用されています。

麦類中最も遅く播くことができ春早くから旺盛に生長し始め早刈りすれば、再生力も強いて2~3回刈りができる多収な秋まき青刈作物です。

他のライ麦品種と比べ、雪印改良ライ麦の特徴は次の通りです。

- 葉や茎が大きくしかも太く、葉の量も極めて多い多収種
- 初期生育、再生力旺盛、耐寒性も一段と強い
- 濃緑色を呈した栄養分の多い良質の生草を生産する



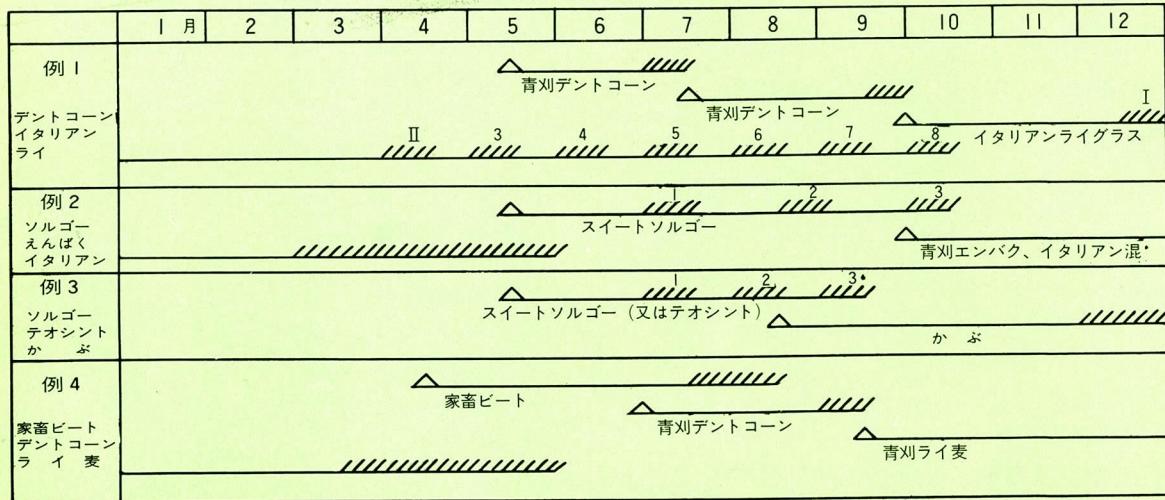
上 雪印改良種 下 在来種

栽培の要点

- 排水の良い土壤が最も適します。
- 播種期は暖地9月上旬~11月下旬、寒地9月上旬が適期。
- 播種量は単播の場合10アール当たり7~10キロ、但し下記の混播が有利。
- 畦巾45~70cm、まき巾は15~20cmの条播が良い。
- 肥料は多目にして、特に加里肥料の効果が著しい。
- 積雪地方では、除雪直前に水銀剤を散布（雪腐れ防止）。
- 2~3度刈は6~10cmの高刈りが後の生育に良い。
- 収量と栄養分から混播が良い。

混播例	ライ麦 4.0	{ ライ麦 5.0 ペッチ 3.0 えんどう 4.0
	ペッチ 3.0	
	えんどう 4.0	
	ライ麦 3.0	{ ライ麦 3.0 イタリアンライ 1.0 えんばく 3.0
	えんばく 3.0	ペッチ 6.0

暖地における集約多毛作例 (関東、東山附近)



△---播種期 --- 生育期間 ---- 利用時期



ライ麦種子ご注文のお願い

ライ麦は夏に生産された種子を直ちに利用しますが、乾燥不充分のものを長途輸送したり、暑い地方で貯蔵しますと発芽が著しく低下することもありますから、播種直前の納期をおしつけ下さい。充分乾燥した発芽のよい種子をお届けします。

作り易く生育の早い多汁質飼料

家畜かぶ



どこにでも短期間に生育する根菜で、主に暖地では水田裏作や畑の多毛作、寒地では、冬期の飼料として貯蔵される作り易い根菜です。

家畜の嗜好が高く、しかもビタミン類多く、泌乳を促進いたしますので、大いに作付して増産下さい。品種には次のものがあります。

雪印改良紫丸かぶ

生育日数80日の極早生種。生長極めて早く、短期間で多収。寒地の春まき夏どり、冬期貯蔵用。又、暖地の渥まきに適します。(株間は20cm位で充分)

雪印改良下総かぶ

生育日数110日の晩生種。葉部、根部共に非常に多収となる。関東・関西の暖地に適します。

小岩井かぶ

生育日数100日の中生種。葉部、根部の収量多く、主に東北地方に適します。

セブントップ

生育日数130日の極晩生種、根部が巨大となり、九州地方の暖地に適します。

新しい省力栽培

かぶのばらまき

根菜類は早期に貴重な多汁質飼料が得られるので優れた飼料ですが、除草や間引など多くの労力がかかります。手間をはぶき、多収をあげるバラまき栽培は、間引、除草の必要はなく、しかも普通栽培に比べ適時間引をしながら収かくすれば、60~80%増収と云う所もあります。

バラまきの要点

- 夏作収かく跡地を耕起し、晴天時に2~3回ハロー や耕耘機で雑草を退治します。
- 整地後、10アール当たり、硫安20%、過石25%、硫加12%の肥料とかぶの種子80~90gを良くまぜ、畑全面にむらなく散布。
- 播き終ったら、ローラーで覆土を兼ね鎮圧します。
- 発芽後の害虫に注意します。
- 肥料は全面散布ですから普通条まきより50%位多目に。

寒冷地における集約多毛作例 (札幌附近)

	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
例1										△		青刈ライ麦
											△	青刈デントコーン
												イタリアンライ
例2				△								
												青刈エンバク、ベッヂ イタリアンライ
												{混} (かぶ、デントコーン、ひまわり、C.O.)
例3				△								かぶ(又はC.O.)
												デントコーン(又はイタリアンライ)
例4				△								かぶ(又はイタリアン)
												ソルゴー、スーダン、青刈大豆
												ベッヂ ライ麦又はフィルドブローム混

△---播種期 --- 生育期間 |||| --- 利用時期